

# 「辞める社員」に 真の優遇措置を 「残る社員」に 安心して働ける宣言を

## ■ 「経営再建」——社員の犠牲は最小限に

田崎真珠（株）が「経営理念」の1つとして、「従業員の尊重」を上げていることはご存じだと思います。「従業員一人一人の特性や能力が発揮され、新たなことに積極的に挑戦出来る、自由で生き活きたとした企業風土作りを目指す。」と。

そして今回、会社は「早期の業績回復と、収益性の回復に向けた構造改革の一環として」全社員を対象に社員の4割に近い450名程度の「希望退職」募集を行いました。483人が「応募」し、会社は全員に対して承諾したとのことです。

しかし、当ユニオンに寄せられる社員の声は、「私はしてもらおう仕事がないと言われました。退職勧奨というより強要のように感じたのは事実です。事実上の指名解雇と言われた人もいと聞きます。残る人数が決まっているから、早く次を探した方が言いといわれた人も。やはり希望退職ではないですね！」(昨日のメール) というものでした。

## ■ 誠意ない会社回答

こうした状況に対して組合を結成した当ユニオン田崎真珠分会は、1月13日、15日に下記の内容を提出しました。これに対して、1月20日に第1回団体交渉が開かれましたが、回答は、予想通りの形式的なものとなり、労働協約の締結についての回答は“忘れていた”としています。

組合要求	会社回答
①退職を希望しない社員に退職強要をしない	①退職強要をする行為は行っておらず、今後も行わない
②今後の「再建」の進め方、社員の配置・処遇等について至急、当労働組合と協議を始める	②全社員と協議しながら、企業改革を推進する所存、ユニオンもご理解・ご協力を
③希望退職の申込に際して、再度、本人の自由な意志であることを確かめること	③希望退職の申請は本人意志に基づくことを説明し誠意を持って対応。申請後期間中に取り消し申込があった場合は取り消し措置を取った。さらなる意思確認の必要性はない
④外部委託会社による再就職支援の費用を会社負担にすること	④希望退職優遇措置は退職一時金と再就職支援を選択する制度であり、再就職支援に掛かる費用のみを会社が多く負担することは考えていない
⑤会社都合により処理できない年次有給休暇及び未消化の振替休日分についての補償すること	⑤説明会で補償等行わないと説明、退職者には1日でも多く休日を取得できるよう対応しているので、補償の予定はない

会社は、「現状で出来る精一杯の優遇措置を講じた」と言われますが、構造改革の計画とそのための財源を決めたあとに「従業員の尊重」を考えるのと、「従業員の尊重」の立場から構造改革と必要金額を考えるのでは、結果はずいぶん違うことになるはずです。田崎真珠は、お客様に「広告」と「中身」の一致が問われる企業なので、会社＝「希望退職募集」と社員＝「退職強要」と受け止め方が違うようでは問題です。心を通わせ、曇りのない透明な美しさを労使関係にもつくるようにして下さい。

街の  
声

# 本当にひどい 東証1部上場企業とは思えない対応だ

交渉では、「希望退職を550人にする」という噂があるということで会社にたずねると、「現時点でそのようなことは一切考えていない」と会社はきっぱり言い切りました。そうであれば、追加の「希望退職」などは行わないなど、みんなが安心して仕事に専念できるよう「安心宣言」をしてください。

そして、会社都合による「振替休日の未消化分」や「引き継ぎなどのために年休消化できない分」については、会社が補償するのは当然のことですから、1日も早く具体化して下さい。そもそも振替休日は事前に休日を就業日にして、代替え休日を指定するのですから、「未消化」という状態がおかしいのです。

東京や九州からも電話やメールで「会社のやり方はひどすぎる」「ユニオンにがんばってほしい」という声が寄せられています。社員でない方からも「田崎真珠の早期希望退職募集は完全に違法であると思いました。対応が本当にひどいです。割増退職金(2.5~4か月)は非常に少なく、再就職斡旋企業へは自己負担と同じ。東証1部企業とは思えない対応だと思います。株主には最近まで他社と比較すると高い配当を出し続けていたのに…今回、相当の精神的苦痛を受け、早期希望退職をせざるをえなかった人たちの力となって頑張ってください。」など、と。これらはフツーの声ではありませんか。



## ■「再建」に必要な社員の協力 労働組合と誠実協議を



次から次に起こる食品偽装や企業の不祥事。どうしてなくならないのか、それは企業の中にチェック機能がないからです。そこで働く労働者(社員)がおかしいと思っても、ものが言えない状況があれば、チェック機能を果たすことはできません。労働組合がない企業や労働組合があっても会社の御用組合では、当たり前のこと、正しい主張をしても、改善されるどころか、反対に会社から仕返しを受ける場合も少なくありません。放漫経営で会社が危なくなるのも同じです。会社の正しい発展のためには、社員が自由にものが言える環境が不可欠です。田崎真珠に今回生まれた労働組合(ユニオン)をみんなで育てること、そして、会社は労働組合と誠実に協議し、社員の意見を反映した会社運営にしていくことが、「再建」への道だと思います。

ユニオンは誰でも1人でも入れるみんなの労働組合です。

## 神戸ワーカーズユニオン田崎真珠分会

神戸市中央区雲井通 1-1-1-215 (TEL) 232-1838 (FAX) 232-1839 (E-mail) kobeunion@rouge.plalal.or.jp  
(国道2号線沿い、生田川西側ロイヤルホストが入ったビル北館2階 お気軽にお越し下さい。)